

# 国立市矢川上地区 まちづくりニュース

第11号  
令和4年 4月発行

発行元

国立市南部地域  
まちづくり課

## 矢川上土地区画整理事業の計画廃止に向けた取り組みの紹介

### ○矢川上地区の市街化の状況

このまちづくりニュースも今回で第11号となります。創刊号では、計画が実施されないまま既に60年が経過した矢川上土地区画整理事業（以下、区画整理）の計画廃止を含め、地域の今後のまちづくりの検討を進めていきたいことをお知らせしました。

これまで「まちづくり勉強会」では、地区計画により今後どのようなまちづくりをしていきたいかを伺ってきましたが、その前提として市では、区画整理を廃止し、あらたな手法によるまちづくりを進めることが適当であるかの調査をしてきています。

区画整理を実施した場合と比較すると、現在の矢川上地区の状況は以下の図のとおりでした。

#### ■現在の市街化状況



#### 《区画整理を実施した場合と同等の水準》

- 地域の道路 区画道路率（道路面積÷区域面積）：16%以上
- 適切な隅切りの整備 道路交差部のすべてに適切な隅切りがあること
- 防災評価 幅員6m以上の道路から140m以上離れた区域（消防活動困難区域）がないこと
- 地域の公園 生産緑地を除いた面積の3%以上が公園であること

上記のほか、

- ・地区内の道路が幅員4m以上であることが必要ですが、16路線中1路線が満たしていません。
- ・建物の建築には一定幅員の道路への接道が必要ですが、137宅地中3宅地が満たしていません。
- ・防災性などを考えるうえで行き止まりでないことが必要ですが、16路線中7路線が満たしていません。

## ○現況調査から見た現在の市街化の状況

地域生活に必要な道路の割合は高く、消防活動困難区域がないことなど、民間開発等により進められたまちづくりによって、一定の要素は区画整理を実施した場合と同等の水準にあります。

一方で、交差点の隅切りや道路の幅員、建物の建築に必要な接道および地域の公園に関して、整備の進捗度合いは高いものの、区画整理を実施した場合と同等の水準には至っていません。

## ○まちづくり勉強会以外で伺った地域の皆様の考え

令和元年度より、地域の皆様のお宅へ市職員が毎年訪問させていただいています。ここでは、区画整理や地域のまちづくりに関し様々なご意見がありました。

○この地域に区画整理の計画があったことは知らなかった。

⇒戸別訪問で説明しました。

○石田第一遊園を利用することはない。矢川上公園がある。

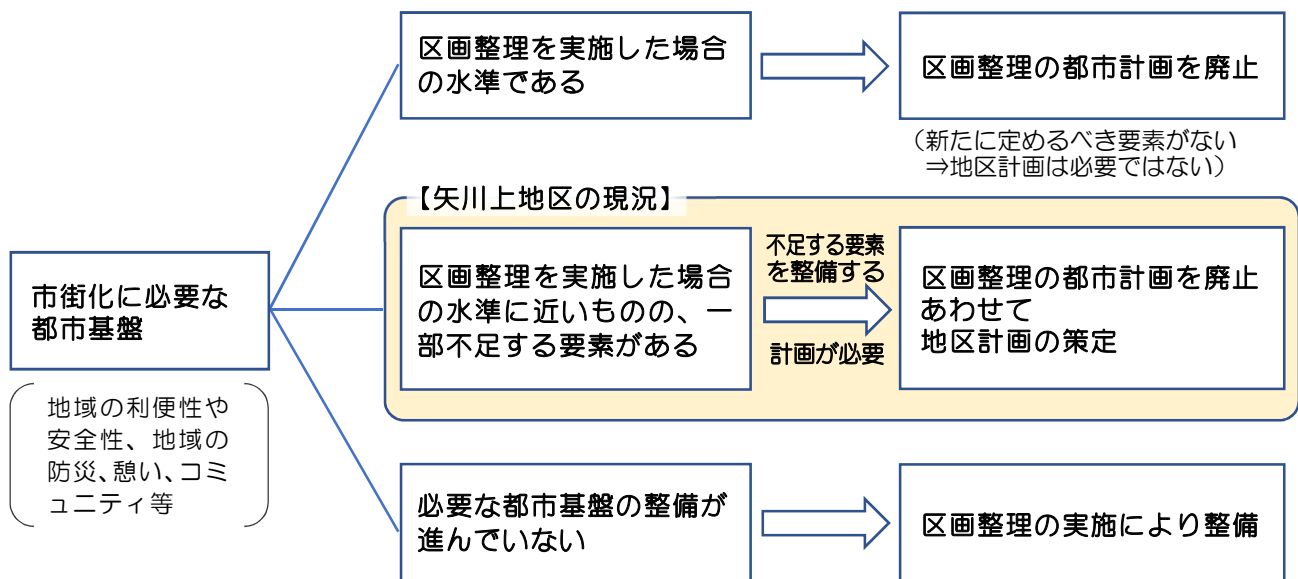
⇒地区を越え、まちとして必要な公園を考えます。

○細い道のままで良い。知っている人しか入ってこないから。

⇒必要最小限の整備により課題の解決を検討します。

○防災上必要な消防車が通れる道路はあった方が良いでしょう。

## ○土地区画整理事業の計画廃止についての市の考え



## ○現在の市の取り組み状況

これまでのまちづくりニュースでの『区画整理に代わり地区計画によるまちづくりを検討したい。』との考え方やまちづくり勉強会による地区計画の検討は、以上のような背景があります。現在は、まちづくり勉強会での成果や上記のような地域の意見をもとに、計画の素案づくりを進めています。今後引き続き進捗状況など、まちづくりニュースでお知らせしてまいります。

～お問い合わせ～

国立市 都市整備部 南部地域まちづくり課 計画整備係 担当：山崎  
 〒186-8501 東京都国立市富士見台 2-47-1  
 TEL：042-576-2111 (内線：372) FAX：042-576-0264  
 E-mail：sec\_nanbuseibi@city.kunitachi.lg.jp